

キャラクター名
モンシャ

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	レネゲイド災害緊急対応班
	オプション		年齢	-	性別	どちらだろうね？
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	34	%
出自	使命	経験	幸せなひととき	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	3	0	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
黄金の麦畑を		0				アドヴァイス+弱点看破+導きの華
貴方の楽園を						アドヴァイス+弱点看破+導きの華+要の陣形

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
要人への貸し	
手配師	
解毒剤	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産“エレウシスの秘儀”	P 執着	N 憎悪		
アイシエ=アルトウウ	P 親近感	N 恥辱		
ディミトリ	P 傾倒	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
オリジン:レジェンド	1	2	マ	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間、【精神】判定の達成値+LV*2								
ヒューマンズネイバー	1	-	常	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定D+LV個(侵食率基本値+5)								
導きの華	5	4	×	視界	単体	自動	-	
効果: 判定の次に行うメジャーE達成値+LV*2								
要の陣形	3	3	×	-	3体	シンドローム	-	
効果: 対象を3体に変更。シナリオLV回								
リカバリー	1	2	セ	視界	単体	自動	-	
効果: 自分を除く対象のバステ解除(暴走除く)。シーンLV回								
ファンアウト	2	4	セ	至近	範(選)	自動	-	
効果: 自分を除く対象は戦闘移動を行う。シナリオLV回								
アドヴァイス	3	4	×	視界	単体	自動	-	
効果: 次に行うメジャーEのC値-1(下限値6)、判定D+LV個								
弱点看破	3	3	×	視界	単体	自動	-	
効果: 対象のラウンド間攻撃力+LV*3								
拡散する世界	1	10	オ	視界	単体	自動	100↑	
効果: 対象のメジャーE対象を「シーン(選択)」に、射程を「視界」に変更する。使用時、自身の20点HP消費。シナリオ1回								
写真記憶	★	-	×	至近	自身	自動	-	
効果: 目にしたものを細部に至るまで詳細に記憶できる。								
土くれの金貨	★	-	×	至近	-	自動	-	
効果: 土から模造品を作成できる。外見のみでアイテムとしての効果は持たない。								
効果:								
効果:								

「我が主人の名の下に、諸侯死ぬまで走りたまえよ」

□ 自己紹介
私について？殊勝なことを言うね。
「長くつをはいた猫」を読んだことは？結構。あの猫こそ私だ。
原典から派生した数多ある写しのひとつが今ここにいる私だ、と言うべきか。
呼び名かい？侯爵は私のことを「私の猫」と仰り、それはたいそう可愛がってくださった。
そうだね…この国の発音に当てはめるのなら、「モン・シャ」かな。
まあ、なんとも呼ばばいいよ。私は君の猫ではないのだからね。

あれから長い刻が経ち、あの麦畑も城も今はもう見る影も無くなってしまった。
それでも、私は人と共にあることを選んだ。私が仕えるべき人を探しては、愛し、愛されてきた。
主をいただきこの身を捧げることこそが私にとっての至上の喜びであり、私のすべてだった。
それがなくては生きてはいけぬ。きつと、彼らにとってもそうであつたらう。
物語の終幕はいつも幸せでなくては。
彼らが使命を全うし天の国に還るその時まで、私は彼らを守るナイトでなくてはならない。
もちろん、主人もその時が来るまで私の腹を撫でる義務があるがね。

だが、憎き遺物が私の邪魔をする。
“エレウシスの秘儀”だ。
我が愛しきディミトリは死んだ。
あの遺物が引き起こした災害で、瓦礫に埋もれて、最期までか細い声で私を呼んでいた。